



# 助成募集要項・申請書

[お問い合わせ](#) | [新着情報](#)[理事長 ごあいさつ](#)[設立趣意書](#)[評議員・理事・監事一覧](#)[定款](#)[事業計画書](#)[助成募集要項・申請書](#)[事業報告書](#)[財団会計](#)

## 令和8年(2026)度 一般財団法人仏教学術振興会 研究助成募集要項

### 1.趣旨

仏教学術振興会は、仏教の学術的研究を振興する目的をもって、昭和40年に設立された財団法人です。設立後、昭和33年より始められていた『大正新脩大藏経』全100巻の「索引」作成という、当時としては画期的な仕事を特に資金面で援助してまいりました。全45巻(50冊)の「索引」出版が完成したのは平成4年のことであり、この大事業完成にいくぶんかの寄与をなしたことを本財団は喜びとしております。

しかし時代は急激に進展し、ITの発展と共に、各国で諸「大藏経」がデータベース化され、我が国の『大正新脩大藏経』に対しても、索引のみならず、データベース化が強く要請される時代となりました。この仕事を遂行したのは「大藏経テキストデータベース研究会」(SAT)ですが、多額の資金を要する事業でありました。そこで、本財団は、平成12年に「大藏経データベース化支援募金会」を創設し、その事業を支援してまいりました。おかげさまで、SATのデータベース化は平成18年に完成し、世界の学界において使用されております。更に、平成19年にはSAT大正新脩大藏経テキストデータベース2007版(SAT 2007)がWEBで公開され、2012版・2015版・2018版とバージョンアップされ、世界の学界において広く使用され、現在も種々のデータと関係し、進化しております。

こうして本財団は『大正新脩大藏経』と深く関わってまいりました。そこで、今回、本財団はSAT大藏経データベースの更なる進展および活用した研究、現代世界の思想・宗教状況を未来に建設的に開いていく分野の研究、研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果発信の助成を公募し、研究費を助成いたします。

### 2.研究分野

・SAT大藏経データベースを直接の資料として用いた研究  
上記の研究に対して、広く新鮮な仏教研究を公募し、助成する。

### 3.募集対象者

修士号以上の学位を持ち、斯学に関心のある研究者および団体

### 4.研究計画と助成額

研究計画は、申請者が主体となって行う研究で、原則として、令和8年度内に研究計画が達成され、成果をとりまとめられるものとする。

但し正当な理由があると認められる場合には、申請により、若干延期することができる。

助成額は、各個人・各団体に対して50万円とする。前記期間内における研究の実施に直接必要な経費とする。

(助成の選考は本財団選考委員会の厳正な審査によって決定いたします。なお、審査の結果によって助成額が変動する可能性があります。また、評価基準を満たす応募がない場合には「該当なし」とする場合があります。)

### 5.申請に関する注意

研究成果報告論考の提出期限・字数制限および注意事項

申請に関しては、本財団指定の申請書を下記よりダウンロードして、記入の上提出のこと。

(1) 原則として令和9年(2027)3月31日を提出期限とする。

(2) おおよそ25,000字以内。

(3) 書式は自由(但し論考としての体裁であること)。

(4) 論考は、原則として、

a.ハードコピー(紙の打ち出し原稿)の郵送

b.データの電子メールによる送付

以上の2種類にて提出すること。

(5) データの送付に際しては、

a.Microsoft Wordファイル

b.PDFファイル

以上の2種類を提出すること(もし専用のフォントがある場合は、フォントも合わせて提出すること)。

(6) 本財団が目的とする学術の振興および公益に資する目的のため、提出した研究成果報告論考が紙面あるいはWebにて公開される可能性に同意すること。

### 6.その他の申請条件

- (1) 申請者は、令和8年度の研究完了まで（令和9年3月31日まで）日本所在の大学、研究機関等に籍を置き、日本に在住できる者に限る。
- (2) 申請者は、当該研究について、学会誌および他の出版などにて発表を行う場合は、本財団の研究助成を受けたことを明記しなければならない。
- (3) 他の助成団体から助成を受ける研究と実質的に同じ内容の研究は、対象とならない。
- (4) 令和8年度の日本学術振興会特別研究員に採用される者は、対象とならない。
- (5) 申請は、1個人または1団体1研究計画に限る。
- (6) 原則提出された書類は返還しない。

## 7.申請書

- (1) 所定の書式「令和8年度 一般財団法人 仏教学術振興会 研究助成申請書」を以下よりダウンロードできます。



[令和8年度一般財団法人仏教学術振興会研究助成申請書.pdf](#)



[令和8年度一般財団法人仏教学術振興会研究助成申請書.doc](#)

- (2) 申請書は、原則として、申請書類一切を、
  - a.ハードコピー（紙の打ち出し原稿）の郵送
  - b.データの電子メールによる送付

以上の2種類にて提出すること。

- (3) データの送付に際しては、
  - a.Microsoft Wordファイル
  - b.PDFファイル

以上の2種類を提出すること。PDFファイルでも署名捺印が確認できること（もし専用のフォントがあった場合は、フォントも合わせて提出すること）。

## 8.申請受付期間

令和8年（2026）6月1日（月）から6月30日（火）＜必着＞

## 9.選考方法と結果の通知

選考に関しては、本財団選考委員会にて決定し、令和8年（2026）9月下旬に各自に通知する。

## 10.個人情報保護について

提出された個人情報に関しては、本助成に関してのみ利用し、収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止、その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。

### 《送付先》

一般財団法人 仏教学術振興会 研究助成係  
〒113-0033 東京都文京区本郷5-26-4-11F 人文情報学研究所内

### 《お問い合わせ先》

下記の電子メールアドレスのみにて受け付けます。電話での問合せは行っておりません。

E-mail : [bgs-foundation@butsugakushin.org](mailto:bgs-foundation@butsugakushin.org)

戻る